



平成25年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月1日
上場取引所 東

上場会社名 日本ファイルコン株式会社
コード番号 5942

URL <http://www.filcon.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名)取締役企画財務部長
四半期報告書提出予定日 平成25年10月7日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名)渡邊 岳敏
(氏名)齋藤 芳治 (TEL)042-377-5711
配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第3四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第3四半期	17,157	6.2	768	—	1,106	—	761	—
24年11月期第3四半期	16,153	△6.2	△252	—	△201	—	△604	—

(注) 包括利益 25年11月期第3四半期 2,165百万円(—%) 24年11月期第3四半期 △576百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第3四半期	34.39	—
24年11月期第3四半期	△27.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第3四半期	30,966	13,135	41.7
24年11月期	29,112	11,038	37.3

(参考) 自己資本 25年11月期第3四半期 12,911百万円 24年11月期 10,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年11月期	—	0.00	—		
25年11月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	6.5	650	—	950	—	550	—	24.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年11月期3Q	22,167,211	24年11月期	22,167,211
25年11月期3Q	35,042	24年11月期	34,967
25年11月期3Q	22,132,222	24年11月期3Q	22,132,415

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和策と新政権による経済政策への期待から円安と株高が進行する等、景気はゆるやかに回復の兆しをみせています。

当社グループの主要取引先である国内紙・パルプ業界は、輸出の増加等により生産量は増加傾向にありますが、国内市場は依然として低調に推移しており厳しい状況でありました。

このような状況のもと、当社グループは、顧客ニーズに添う新製品の開発と市場投入を継続し、国内およびアジア地域を中心とした拡販活動を積極的に展開いたしました。また、収益基盤の強化を目的とした生産体制の再編とコスト低減活動を継続いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は17,157百万円と前年同期に比べ6.2%増加いたしました。これは主に為替相場の変動による輸出および海外子会社の売上高増加と、環境・水処理製品の売上高増加によるものであります。営業利益は売上高の増加と前期末に実施した希望退職による人件費の減少により、売上原価率が3.7ポイント、販売費及び一般管理費の比率が2.3ポイントそれぞれ減少したことにより、768百万円（前年同期営業損失252百万円）となりました。経常利益は為替差益が前年同期に比べて220百万円増加したこと等により1,106百万円（前年同期経常損失201百万円）、四半期純利益は761百万円（前年同期四半期純損失604百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①産業用機能フィルター・コンベア事業

製紙製品分野では、主要顧客である国内紙・パルプ業界は、円安により輸入が減少し、輸出が増加する等、紙・パルプの生産量は徐々に回復傾向にはありますが、国内需要は依然として低迷しており、厳しい状況で推移いたしました。このなかで当社グループでは、高付加価値製品を中心として積極的な拡販活動を展開した結果、国内の販売数量は需要の低迷により減少いたしました。なお、当分野では厳しい状況に対応するため、引き続きタイ王国子会社FILCON FABRICS & TECHNOLOGY CO., LTD.を含めた生産体制の再編と新製品の開発および市場投入により競争力の強化を継続いたしております。

その他の産業分野では、前年同期に比べ、石油採油用スクリーンと食品用コンベアの売上高が増加し、海外向け材料販売、化学メーカー向けニッケル製網の販売が引き続き好調に推移いたしました。また、オーストラリアにおける防蟻施工用ステンレス製網販売等につきましても、住宅マーケットが徐々に回復しつつあり、当分野は総じて堅調に推移いたしました。

その結果、当分野の外部顧客への売上高は12,108百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は1,142百万円（前年同期比42.8%増）となりました。

②電子部材・マスク事業

エッチング加工製品分野では、医療機器向け製品等、当社の加工特性を活かした高付加価値製品の開発・受注に注力するとともに、得意分野とする大判タッチパネル製品の拡販活動と量産に向けた試作を実施いたしました。結果、前年同期に比べて売上高は減少いたしました。前期末の人員減少をともなう生産体制の再編により収益性が改善いたしました。

マスク製品分野では、国内半導体産業の低迷により再編・集約が進むなど厳しい状況で推移し、同分野の売上高は前年同期に比べ減少いたしました。当社グループでは、今後の成長が見込まれ、また得意分野とするパワー半導体向けや、MEMS関連等の非半導体分野を含め積極的な拡販活動を展開するとともに、設備リース料の削減等、コスト低減活動を継続して実施し、収益の確保に努めました。

その結果、当セグメントの外部顧客への売上高は、2,761百万円（前年同期比4.0%減）、営業損失101百万円（前年同期営業損失576百万円）となりました。

③環境・水処理関連事業

水処理製品分野では、公共事業への投資の増加等、市場はゆるやかな回復傾向にあります。このなかで、当期首に実施した当社環境・水処理関連事業の株式会社アクアプロダクトへの事業統合効果を最大限に発揮すべく、プール本体及び濾過装置と、工業用クロフタ排水処理装置の受注活動を積極的に展開するとともに、販路の拡大、新製品の開発活動に注力いたしました。

その他の分野では、震災からの港湾復旧や放射性廃棄物保管容器に使用される高比重コンクリート「Gコン」および車輛連結器・絶縁継手といったユニークな製品の受注活動を積極的に行いました。

また、当セグメントに属する子会社株式会社アクアプロダクトについて、グループ経営の効率化を目的に、第2四半期連結会計期間より決算日を3月31日から11月30日に変更したことにとともに、当セグメントの第3四半期連結業績は、株式会社アクアプロダクトの平成24年9月30日の翌日から平成25年8月31日までの11ヶ月間を連結しております。なお、当変更により当セグメントの売上高が276百万円増加し、営業利益が16百万円増加しております。

その結果、当セグメントの外部顧客への売上高は決算日変更の影響とプール工事を中心に売上高が増加したことにより、1,552百万円（前年同期比24.7%増）となり、営業利益は126百万円（前年同期営業損失26百万円）となりました。

④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、前第3四半期連結会計期間に事業を開始いたしました東京都世田谷区の賃貸事業用ビル、並びに当第2四半期連結会計期間に事業を開始いたしました大阪市淀川区の賃貸マンションが当第3四半期連結累計期間で寄与し、売上高及び営業利益が、前年同期に比べて増加いたしました。

その結果、当セグメントの外部顧客への売上高は734百万円（前年同期比12.4%増）、営業利益は487百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の分析

流動資産は、前連結会計年度末に比べ523百万円増加し、14,016百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が559百万円、仕掛品が205百万円、原材料及び貯蔵品が162百万円それぞれ増加し、現金及び預金が302百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,330百万円増加し、16,950百万円となりました。これは主として、建物及び構築物が507百万円、機械装置及び運搬具が486百万円、投資有価証券が388百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,854百万円増加し、30,966百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ638百万円増加し、10,933百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が441百万円、短期借入金が839百万円、1年内返済予定の長期借入金が364百万円それぞれ増加し、前連結会計年度末に計上した希望退職関連費用等の支払いにより未払金が1,319百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ880百万円減少し、6,898百万円となりました。これは主として、長期借入金が881百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ242百万円減少し、17,831百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,096百万円増加し、13,135百万円となりました。これは主として、利益剰余金が694百万円（四半期純利益761百万円、剰余金の配当66百万円）、その他有価証券評価差額金が221百万円、為替換算調整勘定が1,133百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年11月期の業績予想につきましては、平成25年7月2日公表の業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,565,978	2,263,165
受取手形及び売掛金	5,838,737	6,398,156
商品及び製品	3,095,043	2,916,072
仕掛品	670,029	875,809
原材料及び貯蔵品	1,023,212	1,185,564
その他	375,902	465,551
貸倒引当金	△76,601	△88,078
流動資産合計	13,492,303	14,016,241
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,712,773	5,220,319
機械装置及び運搬具(純額)	2,845,627	3,332,050
土地	3,581,307	3,657,776
その他(純額)	721,249	383,068
有形固定資産合計	11,860,958	12,593,216
無形固定資産		
のれん	866,617	910,774
その他	95,018	131,990
無形固定資産合計	961,636	1,042,764
投資その他の資産		
投資有価証券	1,573,252	1,961,938
リース投資資産	519,966	505,931
その他	716,147	857,988
貸倒引当金	△11,386	△11,181
投資その他の資産合計	2,797,980	3,314,677
固定資産合計	15,620,575	16,950,658
資産合計	29,112,878	30,966,899

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,678,604	3,120,278
短期借入金	1,898,569	2,738,069
1年内返済予定の長期借入金	2,607,362	2,971,738
未払金	1,669,743	350,101
未払法人税等	25,861	162,282
賞与引当金	54,206	280,875
役員賞与引当金	11,420	—
その他	1,349,740	1,310,269
流動負債合計	10,295,509	10,933,614
固定負債		
長期借入金	4,018,639	3,137,073
退職給付引当金	397,666	471,872
役員退職慰労引当金	303,613	323,164
長期預り敷金保証金	1,955,426	1,832,024
資産除去債務	108,492	108,714
その他	994,635	1,025,282
固定負債合計	7,778,474	6,898,132
負債合計	18,073,983	17,831,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,685,582	2,685,582
資本剰余金	1,912,324	1,912,324
利益剰余金	7,661,077	8,355,856
自己株式	△28,062	△28,092
株主資本合計	12,230,920	12,925,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△172,553	48,714
繰延ヘッジ損益	—	△24
為替換算調整勘定	△1,196,824	△63,192
その他の包括利益累計額合計	△1,369,377	△14,502
少数株主持分	177,351	223,984
純資産合計	11,038,894	13,135,152
負債純資産合計	29,112,878	30,966,899

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
売上高	16,153,016	17,157,475
売上原価	11,226,121	11,287,053
売上総利益	4,926,895	5,870,422
販売費及び一般管理費	5,179,118	5,101,833
営業利益又は営業損失(△)	△252,222	768,589
営業外収益		
受取利息	2,945	1,396
受取配当金	26,142	26,971
為替差益	—	220,307
持分法による投資利益	93,719	155,214
その他	133,548	93,722
営業外収益合計	256,355	497,613
営業外費用		
支払利息	112,430	108,236
為替差損	19,340	—
その他	73,439	51,375
営業外費用合計	205,209	159,612
経常利益又は経常損失(△)	△201,076	1,106,589
特別利益		
固定資産売却益	104,413	—
投資有価証券売却益	17,564	—
特別利益合計	121,978	—
特別損失		
減損損失	381,037	—
投資有価証券評価損	76,838	—
特別損失合計	457,875	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△536,974	1,106,589
法人税等	65,449	336,879
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△602,423	769,710
少数株主利益	2,362	8,534
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△604,786	761,176

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△602,423	769,710
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98,230	221,268
繰延ヘッジ損益	—	△24
為替換算調整勘定	105,613	1,068,785
持分法適用会社に対する持分相当額	19,017	105,793
その他の包括利益合計	26,400	1,395,822
四半期包括利益	△576,023	2,165,533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△582,351	2,116,051
少数株主に係る四半期包括利益	6,328	49,481

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,375,896	2,878,112	1,244,986	654,021	16,153,016	—	16,153,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,680	180	937	—	2,797	△2,797	—
計	11,377,576	2,878,292	1,245,923	654,021	16,155,814	△2,797	16,153,016
セグメント利益 又は損失(△)	799,822	△576,968	△26,482	426,637	623,009	△875,231	△252,222

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△875,231千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「電子部材・マスク事業」セグメントにおいて、タッチパネル用部材製造設備の将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において381,037千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,108,576	2,761,768	1,552,246	734,884	17,157,475	—	17,157,475
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,199	120	488	—	9,807	△9,807	—
計	12,117,775	2,761,888	1,552,734	734,884	17,167,282	△9,807	17,157,475
セグメント利益 又は損失(△)	1,142,096	△101,492	126,390	487,687	1,654,682	△886,093	768,589

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△886,093千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。